

そよかぜ 60

2024/8/1

社会福祉法人長須賀保育園

編集人：広報委員会

発行人：堀口貴宏



夏の全力遊び！は、ぐんぐん育つ。おおきくなるう。

防 | 災 | 特 | 集



●避難訓練

地震・火災・津波想定訓練を毎月実施、結果を次の計画に活かせるようにしています。何度も繰り返すことで、「どの場面に職員が必要か」「どのようなことに留意し役割を配分していくか」など、有効な情報が集まり、避難計画の精度が高まります。避難訓練マニュアル（災害時の職員の役割分担・災害発生時の対応の手順・緊急連絡網や避難経路図）という災害時に備えた手順書にもフィードバックし、随時更新しています。

高齢者施設では、ご利用者それぞれに異なる ADL(日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作)に配慮した避難方法やルート、誘導、タイミングを考え訓練を行います。認知症のご利用者が不安にならないよう寄り添い、声掛けなどをすることも大切です。より効率よく安全に実施できるように職員同士の情報共有は欠かせません。

保育園では、歩くことが難しい子は抱える・避難経路を確保する・協力して避難を行う等、役割分担を行いながら子ども達をより迅速に、安全に避難できるよう意識しています。未満児は月齢の差が幅広く、乳児は避難車、おんぶ紐を使用しての避難。2歳からは防災頭巾を被り上靴を履いて避難します。また、3歳児以上のお兄さんお姉さんになってくると、押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない「お・か・し・も」の約束があり、常日頃から子ども達の合言葉になっています。

通報訓練という実際に火災報知器を鳴らし、消防の方とも連絡を取り合う訓練があります。激しいベルが鳴る中、驚いて泣いてしまう子もいますが、実際の緊迫感を感じながらの訓練を行い、日々の取り組みがいざという時に活かせるよう備えています。毎年9月に実施する法人総合防災訓練では、各園・各施設連携を取り、チーム一丸となって皆を守る事ができるように取り組んでいます。

みんなで守る × 備えて守る



災害が起きた時、
備えていればいざという時に対応できる。
当法人の防災訓練等をご紹介します。

●救護訓練

予期せぬ災害で利用者や職員が負傷する可能性があるため、様々な事態を想定し、救護訓練を行います。負傷者の応急処置の仕方、消防署職員による心肺蘇生法や担架を用いた搬出方法の指導など、幅広く学びの機会を取り入れています。

●炊き出し訓練

大きな災害が起きた時、自分たちの命は、自分たちで守る。「食」を迅速に提供できるよう、非常食の炊き出し訓練を実施しています。誰もが安心して温かい食事が摂れるように調理の仕方を確認、発注や備蓄品の確認を行っています。



●自家発電機

5年前に千葉県に甚大な被害をもたらした台風災害。電気が復旧するまでの3日間、自家発電機やソーラー自立電源を使用しました。災害の停電時にも電気が供給できるよう、以降、自家発電機の購入を進め、備えを増しています。

●防災頭巾の練習

2歳児クラスから防災頭巾の着用練習を行います。災害が起きた時に頭を守ってくれる必需品。訓練前に自分で被る練習を行ってきたところ、4月は嫌がる子もいましたが、少しずつ上手に被ることが出来るようになってきました。



災害福祉支援チーム 千葉県 DWAT とは

千葉県 DWAT のメンバーとして、能登半島地震の避難所支援を担った野崎さんにインタビューを行いました。

DWAT (Disaster Welfare Assistance Team : 災害派遣福祉チーム) とは、災害時における二次被害を防ぐため、避難所等に駆けつけ、配慮が必要な方に対し福祉支援を行う専門職チームです。派遣された専門家チームは避難所等の福祉ニーズの把握やスクリーニング、福祉避難所への誘導、日常生活上の支援、各種相談対応、環境整備などに取り組みます。



必要な人に、 必要な支援が届くために

さとのデイサービスセンター
野崎雄矢

●被災者の不安解消や、住民に受け入れてもらうために気をつけていたことを教えてください。

1月25日、初めて石川県七尾市の避難所となっている和倉小学校に到着した時のことです。そこに避難されている住民の皆さんが、構えている（警戒している）というのを肌で感じたんですよね。そうですね、よく分からない人が来たら、警戒しますよね。まずは安心感を持ってもらえるよう、こちらはなるべく普段通りの雰囲気になるように心がけていました。元気に笑顔で挨拶をして、人手の必要な作業があればすぐに飛んで行き自然と輪の中に入り、何か困っていることがありそうな方がいれば、すぐに話しかけにきました。

●大変だったことは何でしょうか？

千葉県 DWAT が初めて支援活動を行ったのが1月末。それから4月下旬まで多くのメンバーが被災地で活動し続けました。私は最初の派遣だったため皆が手探り状態だったこと、本来の DWAT 活動とあわせて、新型コロナウイルスの感染拡大対策や本部機能構築などにも対応しなければならず、毎日が必死でした。

住民だけでなく、常駐する七尾市や京都市職員も感染対応の知識が殆どなく、必要に応じて日赤救護班に相談しながら千葉県チームが指揮をとり対応にあたりました。私自身は、ここ数年職場の老人ホームで感染症の対応に明け暮れていましたので、そのことがとても役に立ちました。

正解が示されていない中、限られた人員で、最大限の効果を生み出せるよう、チームメンバーとは何度も話し合いをしました。幸いメンバーが皆、優秀であったこともあり、うまくまとまって支援にあたれたと思います。

●印象に残っている出来事はありますか？

避難所に、七尾市の女性職員が常駐していました。立場的に住民からの要望や不満等の対応の他、避難所の運営

責任者として多くの支援者とのやり取りをしていく中で、あるとき、日赤の救護班が巡回に来た際、堰を切ったように泣きだされ、心身の不調を訴えられた場面を目にしました。その時に「しまった」と感じました。その方自身も被災者であること。多くの支援者が活動している中、弱音を吐けない立場にいたことに気付かせませんでした。テントの中で過ごす人だけが私たちの支援対象だという思い込みがあったのだと思います。

必要な人に必要な支援が届くために、視野を広く持ち、思い込み決めつけをなくす必要があると学びました。

●今回の派遣を踏まえて、考えたことはありますか？

当たり前ですが、普段の防災訓練がいかに大切か、ということを実感しました。災害時、何が起るかわかりません。落ち着いて取り組むことが、何よりも身の安全を守ることに繋がっていくのだと強く感じました。



野崎雄矢



アート活動

フリーペインティング

緑に囲まれた「さとの保育園」。青空の下でアート活動を行いました。

大きな模造紙、絵具、筆を広げ「自由に描いてごらん」とすべてみんなにお任せです！初めは真っ白い模造紙に、本当に色を乗せていいのか戸惑っている様でしたが、時間が経つと思いきり手や足に絵具を付け、のびのびと描いていました。服や顔に絵具を付けながら集中して描く子どもたち。

フリーペインティングは、創造力や感性、集中力を高めるといわれています。初めての体験に、キラキラとした笑顔がたくさん見せてくれました。これからも子どもたちが自由に表現できる機会をたくさん作ってきたいと思います。



夏野菜の栽培

ぐんぐん大きくなあれ！

「ゆりかご保育園」で夏野菜の栽培が始まりました。プランターはきゅうりやパプリカ、園庭の花壇ではかぼちゃを育てています。2歳児のお友達はシール等で装飾したお手製のジョーロを持ち、プランターの野菜に水やりをしています。

苗を植えてからぐんぐん育てている野菜に、「おおきなあれ！」のかけ声。みんなの応援で、空に向かって成長していきますように！

デイサービス

初夏の自然に親しむ

袖ヶ浦公園へ散策に出かけました。色とりどりの紫陽花や菖蒲に親しみ、お喋りしながら心地よい時間を過ごしました。美しい景色を眺めながら、おやつに美味しいあんパンをいただきます。「久々に花に触れる機会ができた！」「いい土産話を持ち帰ることができる。」と嬉しそうに話す声が聞こえてきました。久しぶりの外出を思う存分満喫できました。



子育て支援センター イベント 2024/8.9月

さとの子育て支援センター

8月

2.7.30日 AM 外で遊ぼう～水遊び

5日 観劇

8.29日 PM 赤ちゃん集まれ

9月

2～5日 手作りうちわを作ろう

6日 お楽しみ縁日

13日 おじいちゃん☆おばあちゃんに手紙を送ろう

19日 赤ちゃん集まれ

30日 PM 赤ちゃん集まれ

※水遊びは複数回ご利用可能です。

うみまち子育て支援センター

8月

5.8日 AM 水遊び

7日 観劇鑑賞

20.27日 紙粘土製作

23日 初めましての日

9月

2～4日 お楽しみ縁日

10日 赤ちゃん集まれ

17.18日 お菓子作り

※イベント日は公式 LINE からの予約です。

※8/10～8/18まで支援センターはお休みです。

プール活動

待ちにまったプール！

「プールはいつから始まるの？」

子どもたちが、ずっと楽しみにしていたプール活動が始まりました！

足をバタバタと動かしては跳ねる水に触れ、「冷たい」「気持ちいい～」と嬉しそうなお声が響きます。今年もプールに入って暑い夏を元気に乗り切ります！

